

**国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成事業**  
(BOOST: Broadening Opportunities for Outstanding young researchers  
and doctoral students in Strategic areas)

## **次世代AI人材育成プログラム (博士後期課程学生支援)**

### **令和6年度 公募説明会**

2024年1月30日  
国立研究開発法人科学技術振興機構  
助成事業推進部

**本資料は概要の紹介です。  
応募にあたっては必ず公募要領および申請書様式を  
お読みください。**

**事務処理関係のご質問については、  
採択決定後に事務処理説明会を開催する予定です。  
そちらで質問するようにお願いいたします。**

# 国家戦略分野の若手研究者及び博士後期課程学生の育成 (次世代AI人材育成プログラム)

令和5年度補正予算額 213億円



文部科学省

## 現状・課題

- ✓ ChatGPTなどの生成AIは人間の知的作業に急速な変革をもたらし、産業、研究開発、教育、創作など様々な分野に波及してきており、米国をはじめ各国において国家戦略・政策の検討が急速に立ち上がっている。
- ✓ 一方で、我が国のAI分野の研究力・競争力は他国の後塵を拝しており、国家戦略分野におけるイノベーション創出や産業競争力強化に向け、**次代を担う若手研究者や博士後期課程学生への支援の抜本的な強化が急務**。

AIに関する暫定的な論点整理

(令和5年5月26日、AI戦略会議)

- ・可及的速やかに生成AIに関する基盤的な研究力・開発力を国内に醸成することが重要である
- ・世界からトップ人材が集まり切磋琢磨できる研究・人材育成環境の構築や産学官の基盤開発力の強化を進めていくことが期待される。

## 事業内容

### 【事業概要】

- 緊急性の高い国家戦略分野として、次世代AI分野（AI分野及びAI分野における新興・融合領域）を設定し、人材育成及び先端的研究開発を推進
- 事業期間：原則5年間（※JST創発的研究推進基金に計上）

### 【支援内容】

#### 1. 若手研究者への支援

対象：国家戦略分野におけるオールジャパンの基盤構築・研究力向上に大きく貢献する大学等における独立した/独立が見込まれる研究者

- 支援期間：原則5年間
- 単価・件数：1,000万円/年（※直接経費）程度を基本とし、計200人程度に支援
- 支援対象：博士号取得後8年程度以下の若手研究者

#### 2. 博士後期課程学生への支援

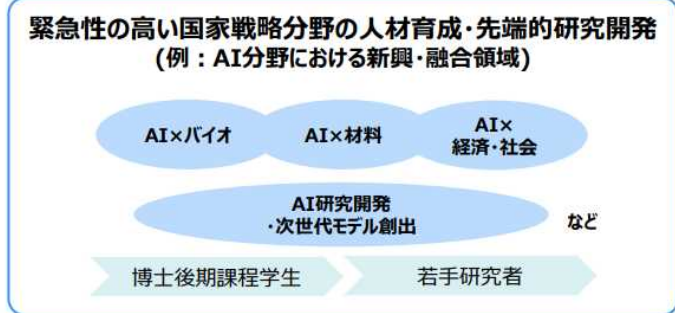
対象：国家戦略分野を担う博士後期課程学生

- 支援期間：3年間（※3回募集の予定）
- 単価・件数：390万円/年程度を基本とし、計600人程度に支援
- 支援対象：博士号取得を目指す博士後期課程学生

### 【事業の特徴】

- ・ 緊急性の高い国家戦略分野への挑戦を志す若手研究者が、**所属機関に関わらず**、最適な場所を求めて**自由に独立**して研究に従事し、**ステップアップ**できる環境を構築（クロスアポイントメント制度の最大活用）
  - ✓ 自身が持つ高い専門性（バイオ、材料など）を活かしつつ、それを超えて国家戦略分野にチャレンジする意欲を喚起【**異分野融合**】
  - ✓ 産学官のセクターを超えた複数の組織への所属を推奨し、国家戦略分野に従事する人材の流動化を促進【**人材流動化**】
- ・ 国家戦略分野の**研究者層を厚く**するため、同分野に資する研究に取り組もうとする博士後期課程学生に対して、**十分な生活費相当額及び研究費をインセンティブ付与**

### 【支援スキーム】



### 【期待される成果】

- ・若手研究者が自由に独立して研究に従事し、ステップアップできる環境の構築・処遇向上
- ・高い専門性（バイオ、材料など）を持つ若手研究者のAI分野への参画による異分野融合の加速

- ・ 大学・国研、産業界におけるイノベーション、劇的な生産性向上
- ・ 極めて激しい研究開発競争が行われている次世代AI分野での我が国の国際競争力の抜本的強化

(担当：科学技術・学術政策局人材政策課)

## 本プログラムの狙い

- 緊急性の高い国家戦略分野「AI分野及びAI分野における新興・融合領域（次世代AI分野）」の研究者層を厚くし、我が国のイノベーションの創出や産業競争力の強化を狙います。
- 博士後期課程学生に対して、より魅力的な支援（学生一人あたり390万円/年（研究奨励費及び研究費））を提供し、博士後期課程に進学する優秀な学生を増やすことを狙います。
- 各大学が指名した次世代AI人材育成事業統括のリーダーシップのもと、育成プロジェクトを企画・推進することで、選抜した学生を、次世代AI分野を担うリーディングサイエンティストとして成長させてください。

## 本プログラムの狙い

- 選抜学生が、事業統括をリーダーとする多様な優れた有識者から助言を受けられ、また知の創発を促すような場や経験を得ることが出来る取組や、共同研究したり、研究室や大学の垣根を越えデータへのアクセスを可能とする取組を期待します。
- 現在、次世代AI分野の研究開発を推進している学生だけでなく、自身が持つ高い専門性（バイオ、材料、社会経済、医療など）を活かしつつ、それを越えて次世代AI分野にチャレンジする学生への支援も対象となりますが、将来的に次世代AI分野を開拓・牽引していこうという志と能力を持つ学生を支援の対象とします。
- 大学には、学生自身が所属する研究室の他、次世代AI分野を専門とする研究室への所属も可能とするなど、本格的に次世代AI分野の研究を推進・先導するための環境を支援する取組を期待します。

# 制度概要

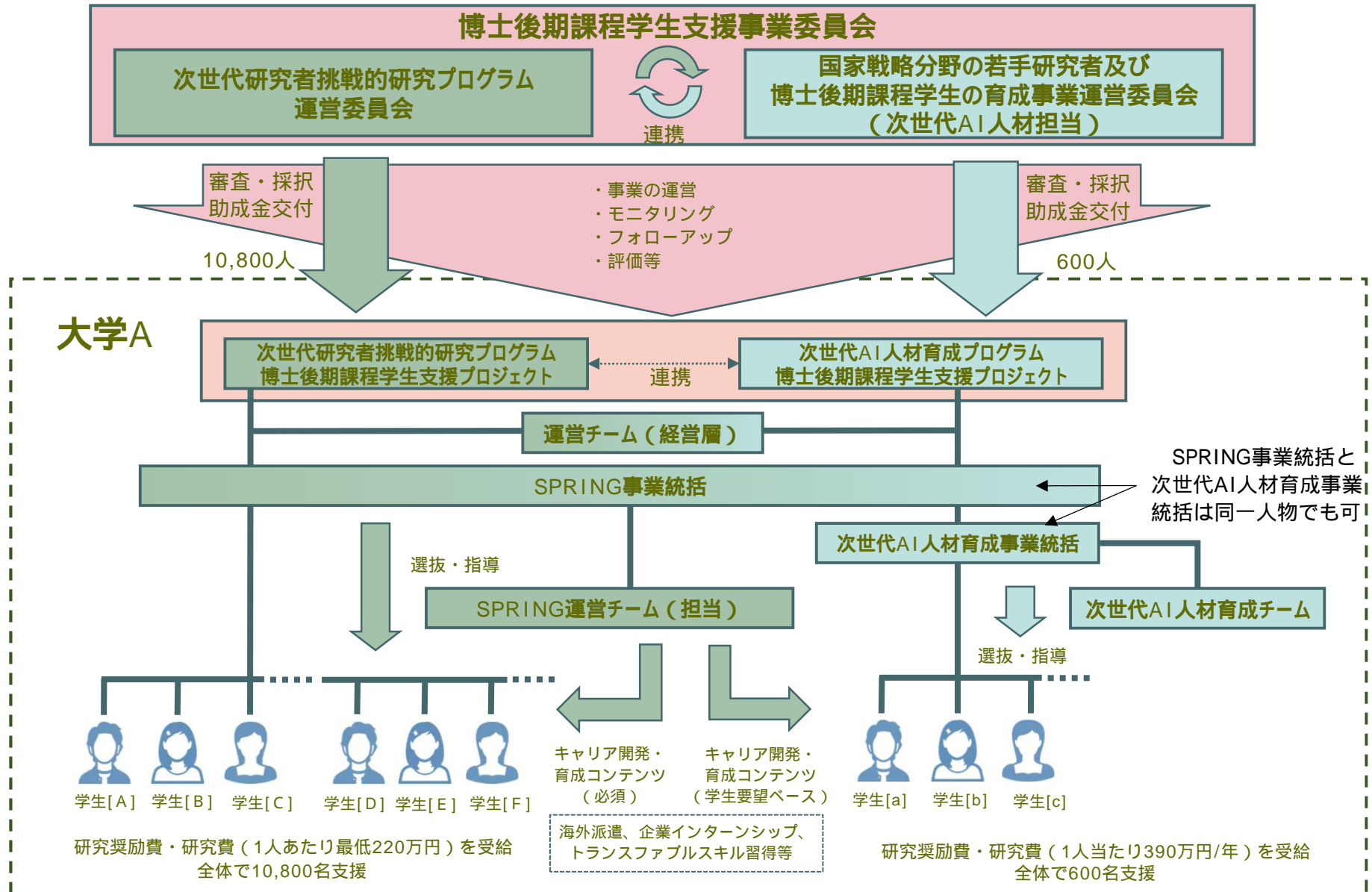
	次世代AI人材育成プログラム (博士後期課程学生支援)	次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)
分野	次世代AI分野 AI分野及びAI分野における新興・融合分野	全分野 (イノベーション創出)
研究 奨励費	年390万円 <sup>1</sup>	年180～240万円
研究費		平均年40万円程度
経費	学生一人あたり支援額：390万円 キャリア開発・育成コンテンツ費、大学事務費無し	学生一人あたり支援額：290万円 キャリア開発・育成コンテンツ費、大学事務費含む
支援人数	600人 <sup>2</sup>	10,800人
選抜 方法	大学が応募 有識者による審査・支援人数決定 学生の選考は大学で実施 (書類・面接等)	大学が応募 有識者による審査・支援人数決定 学生の選考は大学で実施 (書類・面接等)
採択後 支援	大学(事業統括)による育成・研究環境支援 SPRINGによるキャリアパス支援可能	大学(事業統括)による キャリアパス支援

1 研究奨励費及び研究費の合算で学生一人あたり最大390万円×3年を支給

2 令和6～8年度:年200人程度採択(令和8年度に総計600人支援)

# 運営体制

## 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)



SPRING及び次世代AI人材育成プログラムの両方に採択された場合

## プログラム運営における留意事項

- 各大学の選抜学生が大学横断的に交流を行う交流会の開催を予定しています。事業統括の参加および大学に協力をお願いする場合があります。
- 本プログラムからは、間接経費、事務費、キャリア開発・育成コンテンツ費などは措置されません。
- 本プログラムに加え、大学独自に推進する博士後期課程学生への支援を期待します。



## 他事業との重複について

以下の支援を受けている学生は、本事業の対象とはなりません。

- 「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」選抜学生
- 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員（DC）
- 生活費に係る奨学金（240万円 / 年以上）を得ている学生
- 所属する大学や企業等から、240万円 / 年以上の給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる学生
- 国費外国人留学生（日本政府から奨学金を支給されている留学生）、本国からの奨学金等の支援を受ける留学生

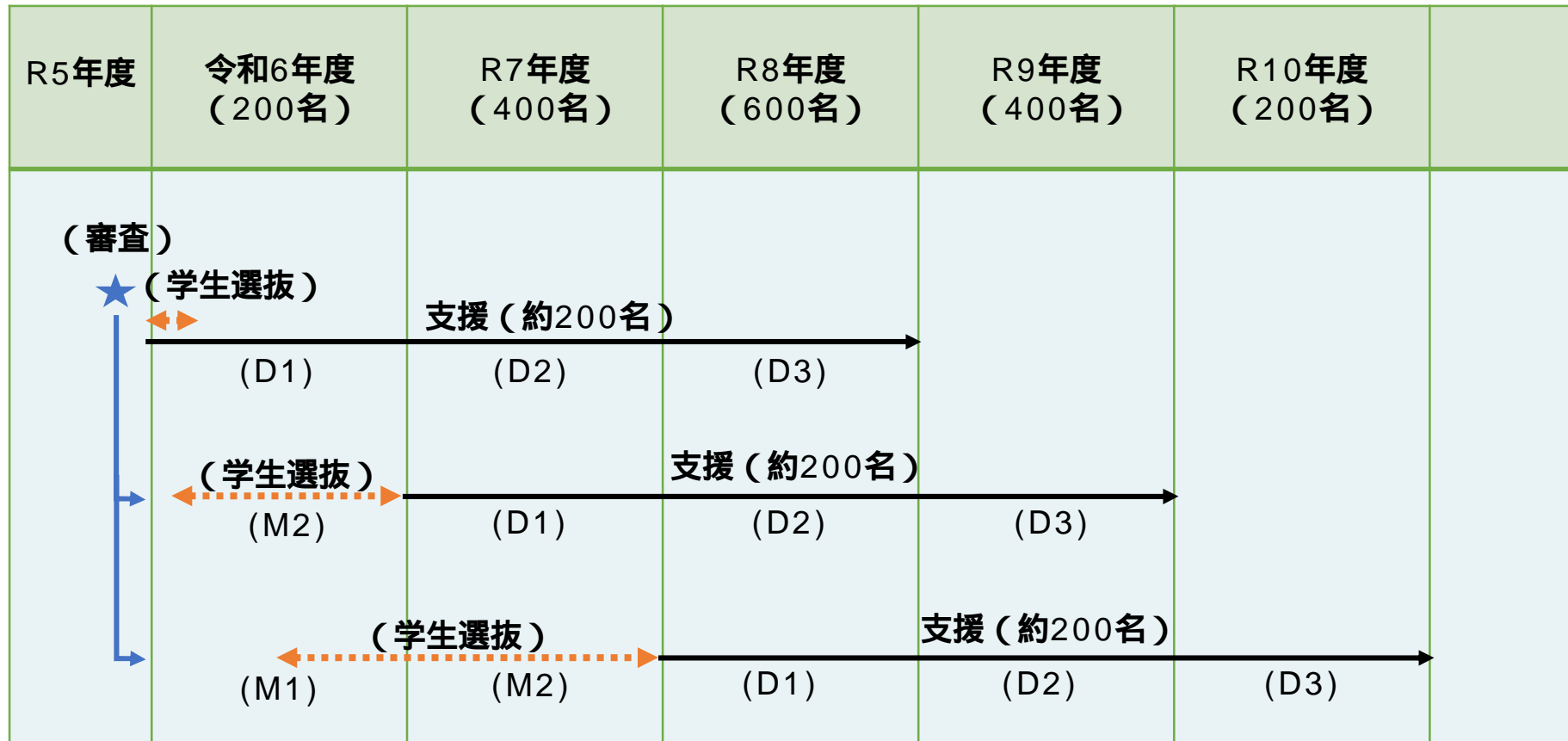
次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）については、研究奨励費および研究費等の重複受給はできませんが、SPRINGが提供するキャリア開発・育成コンテンツ等の支援を受けることを可能とします。

研究開発活動に支障のない範囲で、TAやRA活動を行い、その適正な対価を受給することは禁止されません。研究費の支援を受けることも可能です。

# 支援スケジュール

支援対象者：令和6～8年度に大学院博士後期課程に在籍、入学予定の者。

(下図の補足説明) D1から支援した場合 (D2/D3からの支援も可)。  
4年制課程や秋入学は考慮せず。人数は目安。



★ JSTによる支援枠数の審査

◄-----► 大学における学生の選抜

## 学生選抜における留意事項

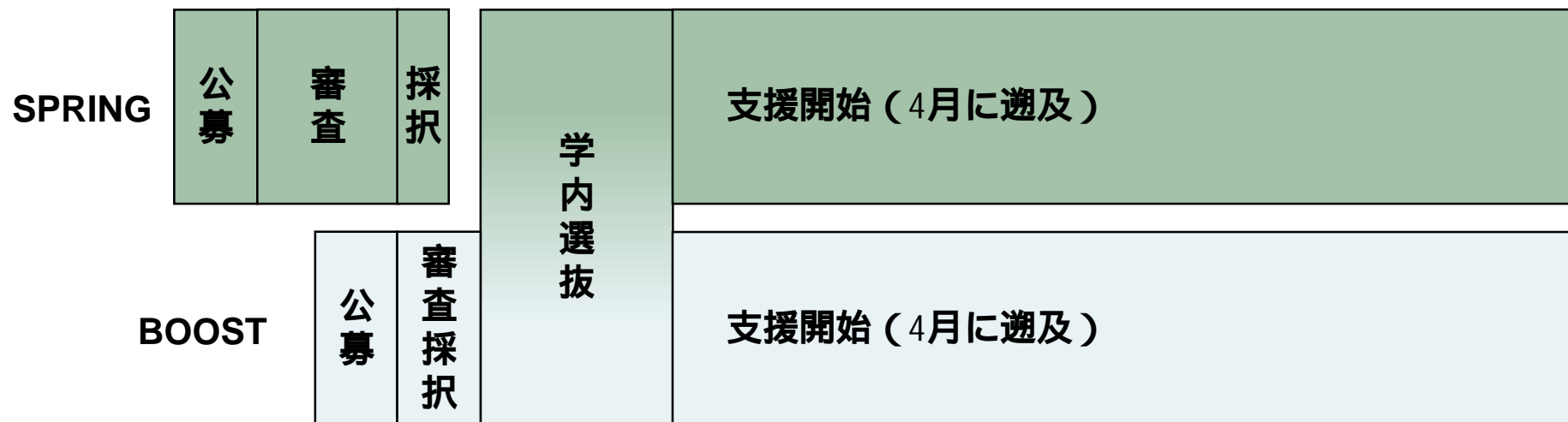
- SPRING選抜学生が、大学による適正な選抜の結果、本プログラムに移行することが可能です。ただし、SPRING選抜学生の本プログラムへの移行により、SPRINGで支援する次世代AI分野の学生の支援人数が大きく減ることがないように、配慮をお願いします。
- 留学生を支援する場合は、いかにして我が国の国家戦略分野におけるイノベーション創出や産業競争力強化に貢献するか十分に説明してください。また、その際には、多様な文化的背景に基づいた価値観を学び理解し合う環境創出のために、より多様な国・地域からの受入れを進めるよう検討ください。

本プログラムは、他国の後塵を拝している我が国の次世代AI分野の研究力・産業競争力の強化に向け、次代を担う博士後期課程への進学者を増やし、より多くの次世代AI分野の高度研究人材を育成するために実施されるものです。

# 選考スケジュール

大学内での学生選抜に配慮し、本プログラムの選考を最短で実施

R5年度						R6年度												
10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4



- ・ 公募締切：令和6年2月26日（月）正午【厳守】
- ・ 審査：令和6年2月下旬～令和6年3月頃
- ・ 採択結果決定・通知・発表：令和6年3月以降
- ・ 支援開始：令和6年4月以降  
（4月への遡及適用を予定しています。）

# 評価の観点

## 1．方針・ビジョン

- ・ 国家戦略分野（次世代AI分野）において、我が国の科学技術・イノベーションの将来を担う優秀で志のある博士後期課程学生および若手研究者層を厚くする（人材増）のための課題が明確であり、それを踏まえた当該分野の博士後期課程学生の研究・育成方針、そしてビジョン（5年程度の中長期視点）を描けているか。
- ・ 技術の進歩が速く、多様な研究分野や産業・社会のニーズの変化が大きい次世代AI分野において、戦略的な研究開発を推進できる次世代AI人材の育成体制・方針、そしてビジョン（5年程度の中長期視点）を描けているか。

## 2．現状・実績

- ・ 大学のこれまでの人材の育成の実績や特別研究員（DC）の採択者数等を踏まえ、国家戦略分野（次世代AI分野）のイノベーション創出や産業競争力強化に向け、次代を担う博士後期課程学生の選抜・育成が見込めるか。

## 3．選抜・育成の体制等

- ・ 事業統括は、ビジョンや目標達成のための知見、経歴、研究実績、人脈を有するか。
- ・ 経営層が運営に責任を持つ必要十分な体制となっているか。事業統括は、経営層(大学本部)より、適切な権限を委譲されているか。

（次ページへ）

# 評価の観点

## 3．選抜・育成の体制等（つづき）

- ・ 事業統括や育成チームのメンバーは、多様な次世代AI分野の研究開発を適正に評価し、また高度なAI分野の専門性を有する研究人材へ学生を育成するに十分で多様な専門性や経歴、研究実績を有しているか。
- ・ 博士後期課程に進学したいと学生が考える魅力的な育成体制となっているか。
- ・ 支援を希望する人数規模に対し、適切な選抜及び育成体制となっているか。
- ・ 計画実行に必要な十分な事業推進体制となっているか。

## 4．選抜・育成の方針・計画等

- ・ 選抜・育成の方針・計画について、ビジョンや目標達成のために実効的で妥当性のある内容か。
- ・ 優秀な学生を募集・選抜し、また選抜後の高度なAI分野の専門性を有する研究人材へ育成する方針・計画となっているか。
- ・ 博士後期課程に進学したいと学生が考える魅力的な育成方針・計画になっているか。
- ・ 支援を希望する人数規模に対し、適切な選抜・育成の方針・計画となっているか。
- ・ 他制度との連携により、博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスの整備や効率的・効果的な育成の方針・計画となっていると望ましい。
- ・ 研究室や大学の垣根を越えたデータへのアクセスや共同研究の支援など、学生の研究環境の支援も含んだ方針・計画となっていると望ましい。

## 申請における留意事項

- 申請において、本プログラムで支援を希望する人数（申請人数）と、最小支援人数の両方を記入してください。
  - 審査では、提案書の内容に基づき評価し、採択・不採択および採択人数を決定しますが、採択人数が少ない場合も想定されます。採択人数が少ない場合、大学にとって本プログラムに採択されるメリットが低いことが想定されるため。
- 次世代AI分野の専攻者数などの設問を設けています。カウントすることが難しいと思いますが、なるべく実態にあった学生数を記入いただけますよう、ご協力お願いします。

## 必要書類・申請方法

○募集要項、申請書類等：

<https://www.jst.go.jp/jisedai/boost-s/index.html>

○申請書類：（申請書様式1）

**ワードおよびPDFファイルの両方**を提出してください。

「**大学\_R6 BOOST-S.docx**」、「**大学\_R6 BOOST-S.pdf**」

サイズは**合計20MB以下**としてください。

○提出先：[boost-s-application@jst.go.jp](mailto:boost-s-application@jst.go.jp)

○公募締切：**令和6年2月26日（月）正午【厳守】**



## < 公募に関するお問い合わせ・申請書提出 >

問い合わせ（E-mail）：[boost-s-application@jst.go.jp](mailto:boost-s-application@jst.go.jp)  
国立研究開発法人科学技術振興機構 助成事業推進部

**お問い合わせはメールにてお願いします。**

本資料はWEBにも掲載予定です。

・次世代AI人材育成プログラムホームページ：

<https://www.jst.go.jp/jisedai/boost-s/index.html>

・JSTホームページ：<https://www.jst.go.jp>